

事務事業名	公平委員研修事業		所属部局	総務部	単位番号	3145				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	総務人事課	課長名	石原 康雄				
			所属担当	総務選挙担当	担当者名	花輪 俊明				
基本政策	基本計画	99 施策に結びつかないもの	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	99	施策に結びつかないもの	事業区分	01	一般	02	01	14	020	04
施策	99	施策に結びつかないもの		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 ( 年度)	法令根拠		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業		<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金		
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
事務事業の概要	全国公平委員会連合会、全国公平委員会連合会関東支部、山梨県公平委員会連合会の総会及び研修会に参加することにより、公平制度の調査、研究及び資料の収集、また、公平委員会相互の情報交換を行い、知識の習得や技術の向上を図る。		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
			旅費	19						
			使用料及び賃借料	1						
			負担金、補助及び交付金	24						
						計	44			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	27年度活動予定
	全国公平委員会連合会、全国公平委員会連合会関東支部、山梨県公平委員会連合会の総会及び研修会へ委員及び職員が参加する。	全国公平委員会連合会、全国公平委員会連合会関東支部、山梨県公平委員会連合会の総会及び研修会へ委員及び職員が参加する。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	公平委員及び事務職員	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	各公平委員会連合会の総会及び研修会等に参加することにより、公平審査業務に関する情報収集、知識の習得、技術の向上を図る。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	公平公正及び迅速な執行により、職員の職場環境づくりが図られる。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 総会等開催回数	回
	イ 参加回数	回
	ウ 総会等参加人数	人
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 委員・職員数	人
	イ	
	ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 総会等の参加により知識の向上が図られた人数	人
	イ	
	ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 職場環境に満足している職員	人
	イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	25	116	44	102	102	102		
		事業費計(A)	千円	25	116	44	102	102	102	0	
人件費	内訳	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	40	40	40	40	40	40		
		人件費計(B)	千円	182	182	182	182	182	182	0	
		(A)+(B)	千円	207	298	226	284	284	284	0	
活動指標	ア	回		4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0		
		イ		4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0		
		ウ		8.0	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
対象指標	ア	人		7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0		
		イ									
		ウ									
成果指標	ア	人		7.0	6.0	7.0	7.0	7.0	7.0		
		イ									
		ウ									
上位成果指標	ア	人		646.0	635.0	629.0	600.0	600.0	600.0		
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	全国公平委員会連合会は昭和29年、同関東支部は昭和39年、山梨県連合会は昭和46年に組織されたことに伴い企画している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	職場環境は、年々厳しくなっており、今後、委員会開催も増す可能性がある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	現状維持。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	公平委員研修事業	所属部	総務部	所属課	総務人事課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 総会等に参加することによる情報収集、知識の習得は人事行政の円滑な運営を行なう事に繋がる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 全国や近隣市町村の公平委員会の取組状況等を把握することは、公平審査の事務執行に繋がり妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 全国や近隣市町村の公平委員会の取組状況等を把握することは、公平審査の事務執行に繋がり継続することは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 この事業は、総会、研修等に参加することであり、毎年参加して円滑な運営に繋げている。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 公平審査に関する情報等の取得ができなくなり、円滑な事務執行に支障をきたす恐れがある。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 全ての自治体が参画している中で、脱退はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 開催される総会及び研修会等は最低限参加すべきものであり削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 総務課内で調整して、各総会等への参加は原則1名としているので、これ以上の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 公平審査事務を取り扱う機関として活動しており、受益者負担はそぐわない。 全職員を対象とした審査機関であり公平である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	各連合会の総会、研修会等へ参加することにより、知識の習得ができた。また、各市町村との情報交換ができ、円滑な運営に繋がっている。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について なし																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 なし	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					